

小児科医による「どこでもオンライン相談」事業

～日本一子育てしやすい町を目指し～

—No.52 横瀬町—

【事業の目的】

子育てへの不安の軽減及び夕方、夜間の非緊急の外来受診の減少を図り、日本一子育てしやすい町を目指します。

【事業の内容】

町内の0歳から15歳の子供がいる家庭（約600世帯）を対象に、スマートフォン等からテレビ電話・チャット等により無料で小児科を専門とする医師に子育てなどについて相談できる「小児科オンライン相談」事業を実施します。子供の急な発熱などによる病院受診の必要性の相談から、発達や健康状態、日頃の子育てでの悩みなど幅広い相談内容に、小児一般やアレルギー、感染症、発達障害、不登校などを専門とする小児科医が応じます。

「LINE」アプリを利用することで気軽に、また多くの医療機関が閉院した後の時間（平日夜間18時から22時）に実施することで、子育てに対する不安の軽減や安心感・満足感の向上及び夕方、夜間の非緊急の外来受診の減少を図ります。

また、本事業の実施前後で町民へのアンケートを実施し、結果を分析することで、小児科医へのアクセシビリティに関する意識の変化、子育てに対して感じる不安の変化や小児医療費助成金等の行政コストの変化等社会的なインパクトを評価します。

【事業年度】

平成30年度～

【予算額(千円)】

4,278千円（平成30年度）

【財源】

ふるさと創造資金（県）、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

当町には小児科の専門医院がなく、子供の体調に異変等があった場合には自宅から離れた町外の医療機関を受診せざるを得ない状況があります。

また、近年は核家族化等により身近に相談できる人がおらず、さらにインターネット上の情報の氾濫などで保護者が大きな不安を感じ、本来は自宅休養でよい軽症の場合にも夜間の救急外来等を受診してしまうという状況も起こっており、より安心して暮らせる町を実現するために実施します。

【事業のPRポイント】

本事業は、横瀬町が実施している官民が連携して先進的なプロジェクトを全国に先駆けて誘致する仕組みである「横瀬町官民連携プラットフォーム（通称よこらぼ）」を通じて採択された事業であり、今までの電話による音声のみの相談や、看護師への相談とは異なり、子育て世帯の多くが利用している「LINE」アプリを利用し、テレビ電話・チャット等により気軽に直接小児科を専門とする医師へ相談ができるところが特徴であり、自治体としての実施は全国でも初となります。

【今後の展開】

事業実施前後のアンケート等の分析結果のフィードバックを行うことにより、当町と同様の問題で悩む全国の自治体に対してのパイロットケースになりうると考えています。

〔 連絡先 〕

子育て支援課 子育て応援グループ 0494（25）0110

まち経営課 政策・秘書・広報グループ 0494（25）0112